



臥牛山と三面川 内山晟氏撮影

同窓の訪れ

第 57 号

編集・発行
新潟県村上市飯野三丁目
16番4号 奨学会館内
新潟県立
村上高等学校同窓会
TEL (0254) 53-2779
FAX (0254) 53-2779
印刷
村上印刷株式会社



村上高等学校同窓会
会長 加藤 幹司

ご挨拶

日頃皆様からは村高同窓会にご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。私は会長就任以来五年目となりましたが、就任に直面した問題が未だ解決に至らず悩み多き毎日を過ごしています。この問題とは折りに触れて皆様に提起をさせて頂いています。会費納入率向上の件です。私は当時、会員の皆様は同窓会の実情を良く知る機会が少なかったため、総会を活性化する事で多くの方々に状況を理解して頂くようと努力してまいりました。お陰様で総会は年々盛況に推移を致しておりますが、本来目的とした会費納入率向上には繋がっていないのが実態です。しかも残念な事ですが二年前から会費収入は微減傾向に転換致しました。

初めまして、栗山前校長先生の後任として、柏崎常盤高等学校から赴任しました登坂光一と申します。どうぞよろしくお願いたします。

県北の雄として、村上・岩船地域は言うに及ばず新潟県内や日本全国に多くの有為な人材を輩出している、創立一〇七年の村上高等学校に赴任できましたことは、私にとりまして誠に光栄であり、身の引き締まる思いとともに責任の重大性を感じています。

昨年は未履修問題で世間をお騒がせし、同窓各位には大変ご心配をおかけいたしました。無事卒業生を送り出すことができました。現在、校内では教育課程を暫定的に修正をして対応をしていますが、今後は全般的に改正を行い、より生徒の進路に適した教育課程の編成に努めたいと思います。

さて、少子化が進行するなか、今年度の大学入試から大学進学希望者と大学の総定員がほぼ同数となり、大学全入時代を迎えました。一方、昨年の大学入試結果から全私大の四〇％が定員割れを起しています。また、県内屈指の予備校が閉校に追い込まれるなど大学進学を取り巻く状況が大きく変化しています。

高校入試においては、平成二〇年度から学区が廃止され全県一区となり、県内のどこの公立高校へも進学を希望できる



村上高等学校
校長 登坂 光一

ことから、村上地区においても新潟地区への一極集中の渦に巻き込まれる事が懸念されています。しかし、いままでも新潟地区は村上・新発田学区の隣接学区であり、新潟市内の高校へ志望できたわけですが、大挙して新潟学区へ志望するといふような大きな混乱は起きていません。また、村上学区は新潟地区までの通学時間や通学方法を考えると、大きな変化はないのではないかと考えています。

一方、来年三月には村上中等教育学校の第一期生が卒業します。その進学結果によつては、本校の進学指導を再考せざるを得ない状況になりかねないことが大きな問題です。また、本校は保護者や地域の方々からは、国公立大五〇人以上、難関大学二桁の進学実績を挙げることを期待されています。本校では主要五教科をはじめ学年、進路指導部を中心として、学校全体で進学実績の向上に向け様々な取り組みを行っております。できるだけ早く、結果を出せるよう取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが生徒・教職員一同、今後も皆様の期待に応えられるよう努力して参りますので、何卒ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ますます絆を深めた総会・懇親会

総会 出席二五一名

十月二十一日午後一時半開会、加藤幹司会長の挨拶のあと、栗山修校長先生から村上高等学校の現状報告も加えての挨拶、来賓を代表して関東支部本間勝治会長の挨拶があった。

議事に入り、旧年度事業報告、決算報告、会計監査報告を承認し、続いて新年度の事業計画案と収支予算案が承認された。

次に奨学会の益田彦彦理事長から奨学会運営の厳しい現状について説明があった。



講師 大島信三氏

ダンス部公開演技



吹奏楽部演奏



「部活」の公開演技

例年会員から好評をいただいている母校の公開演技は、今年度も「ダンス部」と「吹奏楽部」のご協力をいただいで、若さあふれる演技、熱のこもった演奏を楽しませてもらった。

最後に高橋繁實氏の指揮と吹奏楽部の演奏で「校歌」を大合唱し、高校生時代に戻ったような若々しい気分になることができた。

講演会

「マスコミ生活四十年の思い出」と題して全十二回卒業で「正論」編集長をされた大島信三様に講演をお願いした。冒頭、村上の海や城下町への想いを語られた。

話題は豊富で、相撲・プロ野球・大リーグなどのプロスポーツの話や、人生は人との出会い、政治家たちも出会いがあり「引き」があつて今日があること、最近のメディアに対する考え方、北朝鮮や中国のことなど、マスコミの世界で四十年

間活動された経験から多くの真実を分かりやすく語っていただいた。

懇親会 参会者 二九二名

会場の瀬波温泉汐美荘大ホールはAからRまでの十八のテーブルでいっぱい。当番幹事の十八回卒業の人達は廊下にテーブルを並べての宴会となった。

司会の内山忠男氏が新舞踊を披露したり、抽籤で景品が当たったり、ステージからときどき働き掛けがあったが、全員椅子席だったので、同学年や隣接学年で話はずんだり、または積極的に多くの同窓生と話をしたり、どこを眺めても和やかな歓談の様子が見られた。

この日まで、何回も会議を重ね、緻密な計画で準備に当たられた十八回卒業を中心とした八のつく回の当番幹事の皆様に感謝したい。当日の写真パネルを奨学会館に掲示中なのでご覧いただきたい。



参加者の声

【輝く校歌】

二回生 佐藤 良次

久しぶりに同級会総会に出席し、校歌を歌った。校歌はいい。老いた身に青春の血を蘇らせてくれる。

しかし、一番を歌っていて、歌詞が違っていることに気付いた。

私たちは軍国主義最中に入学したので、校歌の歌詞も軍国調そのものだった。あの校歌を聞いたなら、近隣諸国の人たちは目を剥くだろう。歴史的認識を云々するそれらの国の首脳陣には、格好の口実を与えかねない。平和な歌詞に直された校歌を歌う後輩諸君に、幸あれかしと願ってやまない。



【期待通りの総会】

十二回生 伊与部道子

この度の総会は、同級生の大島信三さんが講演をなさるとの事で、同級・同期の方々は楽しみに致しておりました。大変興味深い話を聞かせていただきました。又後輩の若々しい部活動を拝見し、四十年前を懐かしく思い出しました。吹奏楽に合わせて一同で校歌を唱った時は、目頭を押さえる方もおられ、長く重い母校の歴史と縁の深さを感じました。会長さんはじめ、役員、当番の方々は会の準備にご苦労なされた事と思います。感謝を申し上げ、母校の益々の発展をお祈り申し上げます。

【当番幹事の心意気】

十八回生 本間 陽子

「今年は当番幹事だよ」の呼びかけで私たちが十八回生は、飯島さん益田さんを中心に準備を進めてきました。

一人一人の呼びかけで、大きく輪が広がり、総会は三百名近くの方が参加され懇親会も大盛況でした。

総会では、今までと趣を変え、椅子を前に配置して後ろ側を広くとり、在校生の部活発表にスペースを広げました。椅子を前後に回すのに大変かと思われましたが、割とスムーズに動き、心配は無用でした。広いスペースをとりましたので、シ



アターの雰囲気もあり、のびのびとした演技が見られました。吹奏楽部の演奏もぞくぞくするほどの興奮を覚え、部員の方のまなざしに感動いたしました。又、場所を移して懇親会では、司会の内山忠男さんが新舞踊を披露し、万雷の拍手をいただきました。同級生として大変嬉しく思いました。懐かしい人に出会い、ともに語り、校歌を大合唱して、高校時代に戻れる同窓会に来年も参加したいと思えます。皆様方も是非ご参加下さいますように。

【若い当番幹事の反省】

三十八回生 大滝 豊

職場の上司から、「今年の同窓会は八の付く卒業生が幹事だ」と言われ、恥かしながら初めて同窓会に参加させていただきました。

開催までの実行委員会で、先導役をやってくくださった十八回卒業生の飯島さん達の熱意にびつくりしながらも、微力ながら何とかお手伝いさせていたのですが、一番の悩みは同期生（三十八回生）の参加が少なかつたことです。結局、同期の参加は十名足らずで、巳のネットワークの小ささに恥ずかしい気持ちがありました。友人に話を伝えても「それだけは勘弁してくれ」との返事ばかり。自分でもそう返事するだろうなあと思いつながら一通り声は掛けましたがこの結果で制に切り替わりました。

しかしながら、若年層の参加は今ひとつです。これには、地元にとどまって就職している人が少ない上に、連絡もお互いにつけにくくなっております。年齢的に忙しい年代であるのも理由の一つ



いると思います。

第二ステージに入り、故郷回帰の気持ちも高まりました。同窓会の行事に参加するということは故郷を離れて都会で過ごす同窓生には現役時代とは異なった交友関係の再確認の場としてもおおいに役立つ組織です。これを機会にこれからも参加して皆様方とおおいに語り合っていきたいと思えます。今回の同窓会総会・

みんな集まろう 9/29

「総会・懇親会」のご案内

「総会」 期日 平成十九年九月二十九日

（土曜日） 時間 午後一時開会

会場 村上高等学校体育館

議事 平成十八年度事業・決算報告

平成十九年度事業計画（案）

収支予算（案） 役員承認

部活公開 母校ダンス部・吹奏楽部

講演 講師 大谷大学教授

安富信哉氏（十四回卒）

演題 「日本人の思想と仏教」

講師プロフィール 一九四四年村上市大工町に生まれる。現在、大谷大学文学部教授。一貫した研究テーマは「親鸞の仏教思想と清沢満之の宗教思想」著書多数。

懇親会に参加してみて、自分の高校時代の悪行を振り返って反省してみる機会ともなりました。最後に、開催時期は例年十月とのことですが、遠方からの参加を募るのであればやはり、お盆か正月あたりに行るのがいいかと考えますがいかがでしょうか？

是非、同窓会費の納入にご協力を お願いします。

「懇親会」

会場 瀬波温泉大観荘せなみの湯

午後五時開宴 会費 五千元 当日いただきます。

その他 アトラクション

出席の連絡は九月十日必着で「同窓の訪れ」同封の後納ハガキでお知らせ下さい。

懇親会後、瀬波く岩船く七号線く新発田駅まで十五名以上利用の場合、マイ

クロバスでお送り致します。多数のご参加をお待ちしています。

同窓会会長 加藤 幹司

役員・年次代表一同

当番幹事（今年は九の付く回生）

九回生 長準司 工藤泰則 中村太美男

十九回生 安沢孝雄 高橋繁實 小野泰三 早川一雄 佐藤正栄治 山貝博 阿部十一 吉村澄子 二九回生 川村敏晴 田邊寛 近良平 木村正夫 佐藤俊樹

懇親会後にマイクロスバス等で移動

同窓会支部だより

関東支部

十四回生 佐藤 勝

六月十六日四谷のスクワール翹町会館において、関東支部の総会懇親会が開催されました。関東支部では毎年行われるこの会の実行役員として、卒業年度ごと順送り役目を担って来ています。実行役員を任せられるこの機会に同期生がお互い声を掛け合い集まりをもつため仲間意識が強まり非常に良いシステムとなっています。何



といつても本校の次に大きな会であり参加者も毎年一三〇名強となり、その準備は大変です。今年は二十回生の志田裕実行委員長ほか十数名の幹事さんが主体となり、当日も二十五名の同期生が協力し

て、運営を盛りたてました。

東京に梅雨入り宣言が出た直後だったので、好天に恵まれ、例年通り多数の会員と村上からの来賓をお迎えし盛大な会となりました。

総会では、本間勝治会長の挨拶を皮切りに関東支部一年間の活動報告や役員改選など、そして来賓の加藤幹司本部同窓会会長と登坂光一新任校長のご挨拶を頂きました。その後、鏡割りに続き長郷邦男顧問の乾杯の音頭で懇親会の開宴です。

一年に一度先輩と後輩が顔を合わせ交流をはかる懇親会では、顔馴染みの人、初めての挨拶を交わす人など終始談笑が絶えることのない楽しい雰囲気の間で、前年好評だった懐かしの青春歌謡を全員で合唱、また、ジャンケンゲームでは来賓が最後まで勝ち残るなど、その賞金は能登半島地震被災者へのささやかな義援金としていただきました。最後に来年の実行役員をお願いする二十回生の紹介と校歌の斉唱、山田実行副委員長の閉会の挨拶で無事今年度の総会懇親会が終了しました。二十回生実行委員の皆様本当にお疲れさまでした。

関西支部

十七回生 増井 清

関西支部は、桑島会長のご逝去と神戸淡路大震災等で、休眠状態となっていました。十三年振りに活動を再開致しました。

再開のきっかけは、今年一月新潟県人会岩船会の席上、母校出身者から「関西支部の再開」を計画したらどうかとの話からでした。早速、母校同窓会副会長の益田茂彦氏とご相談して、名簿を頂き、呼び掛けたところ、十八名の方からご賛同を頂きました。風薫る五月二十六日午後五時より大阪駅前第三ビル三十二階(エスカイクラブ)で、関西支部会を開催致しました。当日の出席者は十四名でした。今後の活動として、OBを積極的に勧誘していくこと。会の呼称を村上高校同窓会関西支部とすること。役員は名誉会長に谷口文雄氏、会長は谷屋吉章氏、幹事は増井清とし、「定期支部会」は毎年五月最終土曜日に開催することを確認いたしました。

懇親会では、谷口名誉会長の音頭で乾杯。自己紹介では一人三〜四分の予定が全員熱が入り大幅に時間延長となりました。最後に山田しづ子さんの歌唱

指導で高らかに校歌を合唱した後、飯島土郎さんの一本締めで中締めとなり、午後七時五十分



新潟支部

十九回生 木山 英子

永年に亘り京都の新潟支部長として会の運営にご尽力された加藤忠蔵氏が逝去されて休業状態であった総会が十二月六日新潟グランドホテルに於いて開催された。総会では、前支部長と共に会に大きく寄与されている小柳佳三氏を新しく支部長に選出した。現在新潟支部の会員数は約一八〇〇名。五年振りの開催ということもあり、一七五五名に案内状を出した。(ちなみに、ハガキ、印刷代約二〇万)出席者は、五%の九四名であった。

当初より約十萬円の赤字が必至と予測された為、オークションとカンパにより約九萬円を集

めることで脱出することが出来た。時機になれば当り前の様に届けられる「一枚のハガキ」、出来る限り労を少なく、絶ゆることなく継続していくには、どうすれば良いのだろうか?

総会開催の為、幹事を二〇名に増やし多くの知恵を募りつつ、時代に即した同窓会の在り方を改めて検討する事とし、今後を期したい。

久方振りの「宴」も恩師、友らと旧交を温め、和やかな雰囲気の中、最後に女性会員がステージに集い、三面川のせせらぎの様に清らかな、美しいハーモニーで校歌を絶唱。再開を期してお開きとなった。



平成19年度 新潟支部総会

開催日時 平成19年10月24日(水)

開会 18時30分

会場 新潟グランドホテル

連絡先 事務局 富樫

090-2532-4789

新発田支部

五回生 平方 岩男

桜が満開となった四月十五日平成十九年度支部総会が開催されました。以下報告致します。

一、日時 四月十五日(日)

午後一時より

二、会場 新発田駅前「豊谷殿」

三、参加者 二十八名

四、プログラム

(一) 支部長(平方岩男) 挨拶

(二) 来賓挨拶

学校長 登坂光一様

同窓会長 加藤幹司様

(三) 議事

・平成十八年度事業及決算

報告・会計監査報告

・平成十九年度事業計画

(案) 予算(案)

(四) 講演会

講師 石部 久様

(日本野鳥の会・日本鳥学会所属)

演題「鳥の生態に学ぶ」

(五) 懇親会

◎今年の講演会は「鳥の生態」という演題で鳥の姿・鳴き声・生きる方法など、各地で集められた貴重な研究を聞かせていただきました。

時には人間の生活と比べ、例えば「ムク鳥」は草ぼうぼうの庭には来ないとか、「おしどり」は本当は仲が悪い、メスが卵を産むまでは仲むつまじいが、



その後オスは卵を温めないし、どっかへ行つて遊びほうけるとか、アナウンスで「ウグイス嬢」と言うが、ウグイスのメスは鳴かない等々ユーモアを交えて話され、アツと言う間の一時間でした。

その後の懇親会では、久々の再会に昔話に花咲き、とても楽しい一時でした。最後は校歌を声高らかに歌い、次年度の再会を誓い合い散会しました。

関川支部

旧中四五回 伊東 正夫

ブラスの伴奏で勇壮な校歌合唱に全員感動しての開会でした。

本部の川村さんから伴奏テープをお借りして流しました。二月十八日「ますや旅館」に迎えた来賓平田大六村長はかつての

P T A会長で会員以上に熱心な方です。

集いし面々は、伊東正夫(支部長)加藤善吉、津野庄衛、佐藤貞治、石山善一、津野良明吉田トア子、本間正昭、高橋進小倉三千年、伊藤保史(幹事長)稲家誠、近良平、渡辺衛、田村清洋の十五名、大いに意気が揚がり、紅一点の参加も嬉しかった。石山善一氏の篤志でチラシを配布、存在をアピールし会費納入を訴えるが、四月に故人になられたのが残念です。



同期会だより

只今青春まつただなか

九月二日 七十七名で交歓会

十三回生 大滝 修

一九九一年の第一回以来、五回目となった十三回生の同期会は、



瀬波温泉 汐美荘を会場に恩師を含む七十七名の参加で開催。卒業以来四五年、紅顔の美少年達も白霜をいだけ年となり

「思えば遠くへ来たもんだ」との感慨も沸くが「アフター60は第二の青春到来」とばかりに、一連のセレモニーもそこそこ、たちまちの内に「村高生」に逆戻り。歓談の輪ができ、昔話に花が咲くやら、それぞれの「青春模索」の近況報告等々、新たな交誼と旧交を温めあう場となりました。十三回生はこれまで「同期生通信」を年二回、三〇号発行、これらを通じた絆の固さは在学時より更に深まり、人生の真の生き甲斐を探す「林住期」の大きなエネルギー源となっています。次回はクラス順送りだ五組が担当幹事。百の大台参加を目標に益々張り切っているところです。

恐るべき団塊パワー

十八回生 飯島 久

昨年同窓会で来年四月七日還暦同期会をやる宣言した通り大観荘の大広間に一六〇名のお膳を並べ、益田君の乾杯発声で開会された。そして内山君が作ってくれたDVDの画像が畳二枚のスクリーンに写し出されると、全員高校時代に若返った。その当時の音楽に修学旅行、運動会、卒業式、恩師の姿を乗せ、歓喜とどよめきの中で涙を流す者もいた。午後八時澤田君の音頭で中締め、一六〇名の大集合写真を撮り終えた。(この写真の出来映えすばらしく未参加者からも注文あり。)その後二次会に一三〇名の参加者があり、四時間半の同期会は時間不足だった。

それにしても団塊世代のパワーはあふれるばかりであった。



新潟県立村上高等学校第18期生同期会 2007年4月7日 於 大観荘

母校だより

平成十八年度も二七五名の生徒が卒業し、同窓会に加えていただくことになりました。

さて本校は、少子化の傾向が進む中で平成十七年度入学生からさらに一学級減となり、平成十九年度はすべての学年が六学級、全校で十八学級という規模になりました。全校生徒数は四月現在で七一五名です。村高百年史を見ますと、もともと生徒数の多かつた昭和四十年代初頭には、全校で三十四学級、全生徒数が千七百名を超えていたと記述されていますが、このころと比べると、隔世の感があります。

昨年十月に突然沸き起こった、いわゆる未履修の問題は、本校にとつて近來にない大事件でありました。テレビや新聞で連日報道され、同窓の皆様もさぞかしご心配をされたとお察します。

当初は関係生徒や保護者にも動揺がみられましたが、学校として十分な説明をすることに意を尽くし、謙虚な姿勢で事に対処するように努めました。

未履修であると指摘された三年生理系の生徒には、五十時間

程度の補習が課されましたが、大学受験も迫った時期でありながら皆真剣に補習を受け、三月二十日に、例年よりも遅い卒業式を全員無事に迎えることができました。

このような出来事の中でも、生徒は堅忍不拔の精神のもと、勉強や部活動に励んでいます。特に今年度に入り部活動においての活躍はめざましく、新潟県高等学校総合体育大会で陸上部が男子400mリレー五位入賞、ソフトテニス部女子が団体三位と個人三位、弓道男子が個人二位の成績を得ました。さらに陸上リレーとソフトテニスは北信越高等学校総合体育大会でも上位入賞を果たし、県総体で出場権を得た弓道とともに、八月に佐賀県で行われる全国高等学校総合体育大会に出場することになりました。

一方文化部では、美術部が、八月に島根県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場するなど、運動部・文化部問わず生徒は一生懸命取り組んでおりますので、応援をよろしくお願い申し上げます。

(齋藤友紀雄)

【今春の卒業生の進路結果】

進路指導部

今春の大学入試は昨年と比べセンター試験が難しくなり、五教科型の平均点が大きく下がりました。結果として国公立大学の志願者は受かりやすい大学に変更したケースが多かつたようです。この状況は今春の卒業生にも同様のが言えます。以下に卒業生の進路状況を示します。国公立大進学者は二十九名(実合格者数三十二名)でほぼ例年並です。今年度はセンター試験の難化により東北大などの難関国公立に合格した生徒はならず、新潟大学はじめ近県の大

慶など上位大学の難易度が上がりました。そんな中、近年なかなか合格できなかった早稲田、上智大学など上位私立にも合格者を出しております。また、本校生徒の特徴である資格志向が更に強まり、看護・医療系の志願者が多かつたようです。また、短大は二十八名で昨年より若干増えました。特に近い将来四年生大学になる県立新潟女子短大の進学者の割合が高いです。

以上、今春卒業生の進路状況を雑観しましたが、いずれの進路を歩んだにしても、村上高校のOBとして「堅忍不拔」の精神を忘れず、自分の置かれた立場をわきまえ、粘り強く、最後まであきらめず目的を成し遂げることの出来る、社会の有為の存在であることを期待しております。

私立大進学者は九十六名で昨年より若干減少しました。今春の私大入試では、大学全入学時代初年度で中低位大学はかなり合格しやすくなつた一方で、早

あつて専門学校に進むのなら良いのですが、パンフレットを見て楽しそうだからとか、入試が楽だからといった安易な理由で

一方、就職・公務員については、公務員では1名のみの合格にとどまりました。就職に関しては、地元の企業を中心に六名の合格ができませんでした。景気の回復も徐々に県北にまで及んでいるようです。

平成19年3月現在の結果(延べ合格者数)

主な国公立大	現役	合計
新潟大学	19	22
弘前大学	3	3
岩手大学	1	1
山形大学	4	5
福島大学	1	1
千葉大学		1
高崎経済大学	2	2
青森県立保健大	1	1
新潟県立看護大	1	1
その他公立大	0	0
主な私立大	現役	合計
早稲田大学	1	4
上智大学	2	2
青山学院大学	1	1
学習院大学		1
駒澤大学	2	2
専修大学	4	7
中央大学		1
東京理科大	1	2
東洋大学	7	7
日本大学	6	8
法政大学		3
明治大学	1	6
新潟薬科大学	5	5
新潟医療福祉大	21	25
その他私立大	139	171
国公立短大	10	
私立短大	29	
専修学校	88	
就職	7	
浪人	37	
その他	1	

運動部結果

北信越大会

ソフトテニス部
団体1回戦敗退
個人 鈴木由伊子部組 3回戦 2-4(石川)
井上半田組 3回戦 1-4(石川)

県大会

バスケットボール部
男子 3回戦 59-70(新発田)
女子 1回戦 42-91(高田)

バレーボール部
男子 4回戦 0-2(中越)ベスト8
女子 4回戦 0-2(高田商業)ベスト16

卓球部
男子 シングルス 菅原聰 2回戦敗退
久保元樹 2回戦敗退
ダブルス 久保戸澤組 3回戦敗退
田村・木村組 3回戦敗退
女子 ダブルス 須貝・渡辺組 2敗戦敗退
八藤後・斎藤組 2回戦敗退

バドミントン部
男子 1回戦 2-3(小出)
女子 2回戦 1-3(佐渡総合)

サッカー部
2回戦 0-5(新潟)

柔道部
男子 個人 小田力也 3回戦敗退

弓道部
男子 個人 本間達朗 2位

剣道部
男子 団体 決勝トーナメント進出 1-4(六日町)
女子 団体 予選リーグ敗退

陸上部
4×100mR 勝見・船山・近・中村 5位

テニス部
男子 団体 0-3(六日町)
女子 団体 1-2(新潟西)

空手部
女子 団体 組手 1回戦 2-3(十日町)

ダンス部
創作コンクール部門出場 参加発表部門出場

部活動報告

剣道部

二年 近藤 匠

剣道部は男子五名女子六名計十一名で部活を行っています。今は秋の地区大会へ向けて少ない人数ながら日々の部活を一生懸命に行っています。また、顧問の先生だけでなく地域の先生方にも積極的にご指導いただいたり、中学生や他校の生徒にも参加してもらおうなど様々な取り組みをしています。

登山部

三年 平山 智博

僕ら登山部は部員数が少数ながら楽しく活動を行っています。数ある部活の中でも自然と一体になって活動するのは我が部だけでしよう。風や植物などの自然を肌で感じながら、日本の四季を心から楽しんでいます。是非皆さんも登山へ行ってみてはいかがでしょう？清々しい気持ちになりますよ。

男子バスケットボール部

三年 遠山 圭介

あの狭いコートの中で、僕たち男子バスケットボール部は、時に男くさく、時に涙もろく、常に自己鍛錬に励み、勝利への

飽くなき探究心を持ち、自分への挑戦の日々を過ごしてきました。バスケットは好きですか…」

女子バレー部

三年 佐藤 陽子

女子バレーボール部は顧問の磯村先生と共に常に上位入賞を目指して活動しています。部員全員仲が良く、明るく元気なチームです。毎日の練習では、一人一人大きな声を出し、お互いに励まし合いながら行っています。(部活動以外でも生活態度や身だしなみをしっかりとし、明るい挨拶を心がけています。)

漫画研究部

二年 板垣 美穂

漫画研究部では、年七回の部誌の発行を中心に活動しています。

私たちの部は不定期で活動日は少ないのですが、活動日には部誌発行の準備、あとはおしゃべりや原稿の見せ合いなど、にぎやかに活動しています。

茶道部

三年 石田 真衣

茶道部は現在、月、火、木曜の週三日間活動しています。毎週火曜日には、外部から石州流の五十嵐先生に来ていただき指

導してもらっています。また、市民茶会や、高校生茶会に参加したり、学園祭においてお茶会を主催して練習の成果を披露しています。

掲示板

●「百年史」について

「村上高等学校百年史」が若干残っております。販売価格千円、送料五百円です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

●是非、同窓会会費納入にご協力をお願い致します。

同窓会の活動運営を支える唯一の財源として、皆様に年間一口二千元以上の会費をお願いしております。又、会費納入時、郵便局の窓口取扱手数料値上げに伴い、出来るだけ振込用紙が利用できるATMをご利用下さいますようお願い致します。

◎直接事務局でも受付けております。ただし、水・土・日は休館。(新発田支部・関川支部にて一括納入の方は支部総会時納入をお願い致します。)

●「新住所」をお知らせ下さい。「同窓の訪れ」の返送が多数生じています。新住所は直ちに「入

力」いたします。ご連絡下さい。

●会報の限定配布も考慮

同窓会の目的は、会員と母校との連絡を密にし、併せて会員相互の親睦を図ることにありますが、会費収入はここ数年減少傾向にあります。この傾向が続くようであれば、やむを得ず会報の発行を限定することも考えなければなりません。

●創立一〇周年について

母校は、平成二十二年に創立一一〇周年を迎えます。卒業生として母校を繋ぐ架け橋となるよう紙面の充実を図ってまいります。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

●総会・懇親会参加申し込み「後納ハガキ」で

昨年、「後納郵便」による参加申し込み方式にいたしました。今年も継続採用ですので、気軽に参加のハガキをご投函ください。お待ちしております。

◎今年九の付く回生が当番幹事の皆さんです。

第九回 (昭和三十二年卒)

第十九回 (昭和四十二年卒)

第二十九回 (昭和五十二年卒)

第三十九回 (昭和六十二年卒)

第四十九回 (平成九年卒)

平成18年度村上高等学校同窓会収支決算書(見込み)

平成18年8月1日から平成19年7月31日

収入の部

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較. Rows include 会費, 雑入, 寄付金, 前年度繰越金, 合計.

支出の部

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 残額. Rows include 会議費, 事務費, 人件費, 消耗品費, 通信費, 賃借料, 事業費, 広報部, 行事部, 助成費, 生徒会活動補助, 奨学会, 積立金, 雑費, 予備費, 計, 収支差引.

Table with 2 columns: 科目, 金額. Rows include 平成17年度までの積立金, 最終精算により百年史経費残金繰入, 平成18年度利息, 平成18年度積立金, 計.

(記念事業費)

平成19年度村上高等学校同窓会収支予算書(案)

(平成19年8月1日から平成20年7月31日)

収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 内訳. Rows include 会費, 雑入, 寄付金, 前年度繰越金, 計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 内訳. Rows include 会議費, 事務費, 人件費, 消耗品費, 通信費, 賃借料, 会費徴収事務費, 事業費, 広報部, 行事部, 助成費, 生徒会活動補助, 奨学会, 積立金, 雑費, 予備費, 計.

(注)・決算は7月末。総会が9月に繰上開催されたことに伴い訪ねの発行も8月になりましたので、従って訪ねの発行経費を支払う為に繰越金が多額となっています。「同窓の訪ね」発行が早まりましたので監査前の為見込みとして計上致しました。

平成十九年七月十六日午前十時十三分頃、新潟県上中越沖を震源とする地震が発生した。震度六強を観測した。あの三年前の「新潟中越地震」の追い撃ちである。余震が続く現在、災害の規模は見当もつかない。被災の方々の中に多くの「同窓会員」もおられる。心からお見舞いを申し上げます。

地震被災お見舞い申し上げます

Table listing members with columns: 年齢, 氏名, 職業, 住所. Includes names like 倉崎英逸, 岡本陽, 木村退輔, etc.

物故会員名

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(事務局にお知らせいただいた方が主です)